

平成26年5月23日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成26年6月25日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第19457号	バイデートL粒剤	オキサミル粒剤	ホクサン（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「たばこ」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサミルを含む農薬の総使用回数
たばこ	ネブセンチュウ ネガレセンチュウ	37 kg/10a	定植前	1回	作条土壌混和	1回

【変更後】

（削除）

【変更理由】

当該剤は北海道のみの販売であり北海道においてたばこの栽培実績がないため。

平成 26 年 8 月 4 日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 26 年 8 月 27 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等への周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第 22797 号	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン水和剤	日本農薬株式会社
第 22798 号	クミアイコルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン水和剤	クミアイ化学工業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

作物名「だいこん」の削除

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

（変更前）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ピリフルキナゾンを含 む農薬の総使用回数
だいこん	アブラムシ類	4000倍	100～ 300 L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内

（変更後）

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した「だいこんの葉」を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量*を超過することが予想されたため。

* この想定値は、平成 26 年 7 月 1 日に開催された食品安全委員会で示された急性参照用量（案）と合致している。

平成 26 年 8 月 12 日

各 位

日産化学工業株式会社
農業化学品事業部
営業本部

ジメトエート粒剤の登録内容変更に関するご案内

拝啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また平素は、「ジメトエート粒剤」の販売促進に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ジメトエート粒剤」につきまして、下記のとおり登録内容が変更されることとなります。使用者への周知徹底につきご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、本変更に伴い販売見込が大幅に減少することが予想されるため、「ジメトエート粒剤」は本年 9 月末をもって販売終了とさせていただきます。ご理解いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

【 対象登録薬剤 】

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第14397号	ジメトエート粒剤	ジメトエート粒剤	住友化学株式会社

【 変更内容 】

作物名「だいこん」「なす」「ねぎ」「だいず」「畑わさび」「わさび」を削除する。

【 適用表 】

別紙参照

【 登録変更の時期 】 平成 26 年 11 月 （予定）

【 変更理由 】 登録維持に必要な追加の資料整備に時間と経費を要するため。

【 販売中止理由 】 上記登録変更に伴い、販売維持に必要な数量に満たなくなるため。

以上

「変更前」

適用作物	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメトールを含む農薬の総使用回数
だいこん	アブラムシ類	3～6kg/10a	は種前～ 収穫42日前まで	3回以内	株元施用 又は作条施用	3回以内
なす	ハダニ類 モモアブアブラムシ テントウムシダマシ アザミマ類		定植後 収穫14日前まで		株元施用	
ねぎ	アザミマ類	6kg/10a	移植前～ 収穫30日前まで		作条施用	
	ネギ ネギハダニ					
ごぼう	アブラムシ類	3kg/10a	は種前～収穫21 日前まで			
らっきょう	ネギ	6kg/10a	収穫30日前まで	2回以内		2回以内
だいず	アブラムシ類	3～6kg/10a	は種時	1回		1回
知わざび わさび	ワサビウメアザミマ ミドリカサウシ	6kg/10a	収穫28日前まで	2回以内	散布	2回以内
ゆり	ネギ	4.5～6.0kg/10a	-	-	苗の移植直前に浅 くすき込む	-
カーネーション	ハダニ類	1.2～1.8kg/10a			苗の定植前に散布	
チューリップ	ネギ	4.5～6.0kg/10a			球根植付前に球根 の下2～3cmにすき 込む	

「変更後」

適用作物	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメトールを含む農薬の総使用回数
ごぼう	アブラムシ類	3kg/10a	は種前～収穫21 日前まで	3回以内	作条施用	3回以内
らっきょう	ネギ	6kg/10a	収穫30日前まで	2回以内		2回以内
ゆり	ネギ	4.5～6.0kg/10a	-	-	苗の移植直前に浅 くすき込む	-
カーネーション	ハダニ類	1.2～1.8kg/10a			苗の定植前に散布	
チューリップ	ネギ	4.5～ 6.0kg/10a			球根植付前に球根 の下2～3cmにすき 込む	

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成26年9月24日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20889号	ベンレート水和剤	ベノミル水和剤	住友化学（株）
第23180号	G F ベンレート水和剤	ベノミル水和剤	住友化学園芸（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回、使用制限となる変更部分のみ）】

- ・作物名「小麦」（※）の適用病害虫名「赤かび病」の本剤の使用回数を「3回以内」から「2回以内」に変更する。
- ・作物名「えんどうまめ」の使用時期を「収穫7日前まで」から「収穫14日前まで」に変更する。
- ・作物名「かんきつ（みかんを除く）」の本剤の使用回数およびベノミルを含む農薬の総使用回数を「4回以内」から「2回以内」に変更する。
- ・作物名「かんきつ（みかんを除く）」の適用病害虫名「そうか病」、「灰色かび病」を削除する。

【適用表（今回、使用制限となる変更部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 または 使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ベノミル を含む 農薬の 総使用回数
小麦（※）	赤かび病	2000～3000 倍	60～ 150L/10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内（種子へ の処理は1回以 内、は種後は3回 以内）
	雪腐病			根雪前	1回		
えんどうまめ	菌核病 褐紋病	1000～2000 倍	100～300 L/10a	収穫7日前 まで	4回以内		5回以内 （種子粉衣は 1回以内、は種 後は4回以内）
かんきつ （みかん を除く）	そうか病 灰色かび病	2000～3000 倍	200～700 L/10a	収穫7日前 まで	4回以内		4回以内
	貯蔵病害（青かび病） 貯蔵病害（緑かび病） 貯蔵病害（軸腐病） 貯蔵病害（炭疽病） 貯蔵病害（黒斑病）	4000～6000 倍					

【 変更後 】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 または 使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ベニミル を含む 農薬の 総使用回数
小麦 (※)	赤かび病	2000～3000 倍	60～ 150L/10a	収穫7日前 まで	<u>2回以内</u>	散布	4回以内（種子へ の処理は1回以 内、は種後は3回 以内）
	雪腐病			根雪前	1回		
えんどうまめ	菌核病 褐紋病	1000～2000 倍	100～300 L/10a	<u>収穫14日 前まで</u>	4回以内		5回以内 （種子粉衣は 1回以内、は種 後は4回以内）
かんきつ （みかん を除く）	貯蔵病害(青かび病) 貯蔵病害(緑かび病) 貯蔵病害(軸腐病) 貯蔵病害(炭疽病) 貯蔵病害(黒斑病)	4000～6000 倍	200～700 L/10a	収穫前日ま で	<u>2回以内</u>	2回以内	

※ GFベンレート水和剤（第23180号）は、小麦への適用がないため、小麦に係る変更はない。

【 変更理由 】

現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成26年10月22日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22094号	ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	バイエルクロップサイエンス(株)

■変更内容及び変更理由**【 変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ） 】**

- ・作物名「ぶどう」の使用時期を「収穫前日まで」から「果実肥大期（大豆大期）～収穫前日」に変更する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ） 】**[変更前]**

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピロメシフェンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	ハダニ類	2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	1回	散布	1回

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピロメシフェンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	ハダニ類	2000倍	200～700L/10a	果実肥大期（大豆大期）～収穫前日	1回	散布	1回

【 変更理由 】

薬害を回避するため。

平成26年10月17日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成26年11月17日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第13175号	ホクコーオトルン水和剤	アセフェート水和剤	北興化学工業株式会社
第19992号	オトルン水和剤	アセフェート水和剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第19566号	家庭園芸用ホクコーオトルン水和剤	アセフェート水和剤	北興化学工業株式会社
第21519号	家庭園芸用オトルン水和剤	アセフェート水和剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第21819号	家庭園芸用GFオトルン水和剤	アセフェート水和剤	住友化学園芸株式会社
第13177号	ホクコーオトルン粒剤	アセフェート粒剤	北興化学工業株式会社
第19993号	オトルン粒剤	アセフェート粒剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第19568号	家庭園芸用ホクコーオトルン粒剤	アセフェート粒剤	北興化学工業株式会社
第21520号	家庭園芸用オトルン粒剤	アセフェート粒剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第21789号	家庭園芸用GFオトルン粒剤	アセフェート粒剤	住友化学園芸株式会社
第21733号	オトルンDX粒剤	アセフェート・クロチアジソン粒剤	住友化学園芸株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1) アセフェート水和剤

（第13175号 ホクコーオトルン水和剤、第19992号 オトルン水和剤）

- ①作物名「なす」を削除する。
- ②作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ③作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000～1500倍又は1000～2000倍」を「1500倍又は1500～2000倍」、「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「1回」に変更する。

- ④作物名「レタス」の「使用時期」を「収穫 14 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に変更する。
- ⑤作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑥作物名「だいこん」を削除する。
- ⑦作物名「はつかだいこん」を削除する。
- ⑧作物名「非結球あぶらな科葉菜類（ケール、からしな、みずな、ルッコラを除く）」を「非結球あぶらな科葉菜類（ケール、からしな、みずな、ルッコラ、たかなを除く）」に変更する。
- ⑨作物名「かぶ」を削除する。
- ⑩作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」、「4 回以内」から「2 回以内」及び「5 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 4 回以内）」から「3 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内）」に変更する。
- ⑪作物名「トマト」及び「ミニトマト」を削除する。
- ⑫作物名「とうもろこし」を「未成熟とうもろこし」に変更する。
- ⑬作物名「ぶどう」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 30 日前まで」から「収穫 60 日前まで」、「2 回以内」から「1 回」及び「2 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑭作物名「かき」の「適用病害虫名」の「カキクダアザミウマ、チャノキイロアザミウマ、カキノヘタムシガ」の「希釈倍数」を「1000~1500 倍」から「1500 倍」に変更し、「適用病害虫名」の「フジコナカイガラムシ」の「希釈倍数」を「1000 倍」から「1500 倍」に変更し、「適用病害虫名」の「カキノヒメヨコバイ」を削除する。
- ⑮作物名「かんきつ」を削除する。
- ⑯作物名「茶」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「摘採 30 日前まで」から「摘採 45 日前まで」、「2 回以内」から「1 回」及び「2 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑰作物名「オクラ」の「使用時期」を「収穫 7 日前まで」から「収穫開始 7 日前まで」に変更する。

2) アセフェート水和剤（家庭園芸用）

（第 19566 号 家庭園芸用ホクローオトルン水和剤、第 21519 号 家庭園芸用オトルン水和剤、第 21819 号 家庭園芸用 G F オトルン水和剤）

- ①作物名「なす」を削除する。
- ②作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」、「3 回以内」から「1 回」及び「3 回以内」から「2 回以内（定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内）」に変更する。
- ③作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000~1500 倍又は 1000~2000 倍」を「1500 倍又は 1500~2000 倍」、「収穫 14 日前まで」から「収穫 30 日前まで」、「3 回以内」から「1 回」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ④作物名「レタス」の「使用時期」を「収穫 14 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に変更する。
- ⑤作物名「ブロッコリー」を削除する。

- ⑥作物名「だいこん」を削除する。
- ⑦作物名「はつかだいこん」を削除する。
- ⑧作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」、「4回以内」から「2回以内」及び「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑨作物名「トマト」及び「ミニトマト」を削除する。
- ⑩作物名「とうもろこし」を「未成熟とうもろこし」に変更する。
- ⑪作物名「ぶどう」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫30日前まで」から「収穫60日前まで」、「2回以内」から「1回」及び「2回以内」から「1回」に変更する。
- ⑫作物名「かき」の「適用病害虫名」の「カキクダアザミウマ、チャノキイロアザミウマ、カキノヘタムシガ」の「希釈倍数」を「1000~1500倍」から「1500倍」に変更し、「適用病害虫名」の「カキノヒメヨコバイ」を削除する。
- ⑬作物名「かんきつ」を削除する。
- ⑭作物名「オクラ」の「使用時期」を「収穫7日前まで」から「収穫開始7日前まで」に変更する。

3) アセフェート粒剤

(第13177号 ホクコーオ尔特ラン粒剤、第19993号 オ尔特ラン粒剤)

- ①作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫21日前まで」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時植穴散布及び生育期葉面散布」から「植穴処理」及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ②作物名「トマト」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日まで」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ③作物名「ミニトマト」を削除する。
- ④作物名「きゅうり、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日まで」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑤作物名「ピーマン」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日まで」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「株元散布」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑥作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫21日前まで」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「植穴散布及び生育期株元散布」から「植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。

- ⑦作物名「ブロッコリー」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫 14 日前まで」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑧作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前作条散布」から「作条散布」及び「2 回以内（は種前及びは種時の処理は合計 1 回以内）」から「1 回」に変更する。
- ⑨作物名「はつかだいこん」を削除する。
- ⑩作物名「かぶ」の「使用時期」を「収穫 14 日前まで」から「収穫 21 日前まで」に変更する。
- ⑪作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 4 回以内）」から「3 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内）」に変更する。

4) アセフェート粒剤（家庭園芸用）

（第 19568 号 家庭園芸用ホクコーオトルラン粒剤、第 21520 号 家庭園芸用オトルラン粒剤、第 21789 号 家庭園芸用 G F オトルラン粒剤）

- ①作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫 21 日前までの生育期」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」、「定植時植穴散布及び生育期葉面散布」から「植穴処理」及び「3 回以内」から「2 回以内（定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内）」に変更する。
- ②作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫 21 日前までの生育期」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」、「植穴散布及び生育期株元散布」から「植穴処理」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ③作物名「トマト」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」、「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「植溝散布又は植穴処理」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ④作物名「ミニトマト」を削除する。
- ⑤作物名「きゅうり、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」、「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「植溝散布又は植穴処理」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑥作物名「ピーマン」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」、「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「株元散布」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑦作物名「ブロッコリー」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫 14 日前までの生育期」から「定植時」、「3 回以内」から「1 回」及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ⑧作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は

種前植溝散布」から「植溝散布」及び「2回以内（は種前及びは種時の処理は合計1回以内）」から「1回」に変更する。

⑨作物名「はつかだいこん」を削除する。

⑩作物名「かぶ」の「使用時期」を「収穫14日前まで」から「収穫21日前まで」に変更する。

⑪作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。

5) アセフェート・クロチアニジン粒剤（第21733号 オルラン DX 粒剤）

作物名「トマト、なす、きゅうり」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3回以内」から「1回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1) アセフェート水和剤

（第 13175 号 ホクコーオ尔特ラン水和剤、第 19992 号 オ尔特ラン水和剤）

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
なす	アブラムシ類、アザミウマ類	1000～2000 倍	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内	
	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	1000 倍					
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキリンウバ	1000～1500 倍	収穫 14 日前まで	2 回以内			2 回以内 (は種前及びは種時の処理は合計 1 回以内)
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1000～2000 倍					2 回以内 (は種前の処理は 1 回以内)
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1000～1500 倍	収穫 21 日前まで	1 回			1 回
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1000～2000 倍					
レタス	ヨトウムシ	1000～1500 倍	10a 当り 25L 散布	4 回以内			5 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、 植付後は 4 回以内)
ブロッコリー	オオタバコガ	1000 倍					
だいこん	ヨトウムシ、カブラハバチ ダコソシンクイムシ	1500 倍	収穫前日まで	3 回以内			3 回以内
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1500～2000 倍					
はつかだいこん	ヨトウムシ、カブラハバチ ダコソシンクイムシ	1500 倍	1 回	1 回	2 回以内 (定植時の処理は 1 回以内、 定植後は 1 回以内)		
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1500～2000 倍					
非結球 あぶらな科葉菜類 (ケール、からしな、 みずな、ルッコラを 除く)	アブラムシ類	1500 倍	10a 当り 25L 散布	4 回以内	5 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、 植付後は 4 回以内)		
かぶ	アブラムシ類、アオムシ、コガ						
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000 倍	収穫 7 日前まで	4 回以内	10a 当り 25L 散布		
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ	1000 倍					
	アブラムシ類	300 倍					
トマト	アブラムシ類	1000～2000 倍	収穫前日まで	3 回以内	3 回以内		
	マメハモグリバエ	1000 倍					
ミニトマト	アブラムシ類	1500 倍	収穫 14 日前まで	1 回	2 回以内 (定植時の処理は 1 回以内、 定植後は 1 回以内)		
とうもろこし		1000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内	2 回以内		
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～2000 倍	収穫 30 日前まで				
	ハマキムシ類	1500 倍					
かき	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキノハタムシガ	1000～1500 倍	収穫 45 日前まで	2 回以内	2 回以内		
	カキノヒメヨコバイ アジコカカガラムシ	1000 倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数
かんきつ	コクモンハマキ、シャクトリムシ類 ヤノカイガラムシ第1世代 ツノウムシ、ルビローウムシ ミカンキイロアザミウマ ネキアザミウマ コホウノミドリヒメコバエ	1000倍	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内
	アブラムシ類、ケシキスイ類 コアオハナムグリ、アザミウマ類	1000～1500倍				
	ミカントゲコナジラミ	1500～2000倍				
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメコバエ	1000～2000倍	摘採30日前まで	2回以内		2回以内
	チャノコクモンハマキ	1000～1500倍				

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキシンウバ	1000～1500倍	100～300 L/10a	収穫30日前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)	
	アオムシ、コナガ アブラムシ類	1000～2000倍						
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1500倍						
	アオムシ、コナガ アブラムシ類	1500～2000倍						
レタス	ヨトウムシ オオタバコガ	1000～1500倍 1000倍						
	アブラムシ類	1500倍		収穫21日前まで	1回		3回以内	3回以内
オクラ	アブラムシ類 ミドリコバエ	1000倍		収穫開始 7日前まで	2回以内			3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ			300倍				
	アブラムシ類 ジヤカイモガ	1000～1500倍		100～300 L/10a	収穫7日前まで			2回以内
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	1000倍						2回以内
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメコバエ ハマキムシ類	1500～2000倍	200～700 L/10a	収穫60日前まで	1回	1回		
	カキタアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキハタムシガ フジコナカイガラムシ	1500倍		収穫45日前まで	2回以内	2回以内		
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメコバエ	1000～2000倍	200～400 L/10a	摘採45日前まで	1回	1回		
	チャノコクモンハマキ	1000～1500倍						

2) アセフェート水和剤(家庭園芸用)

(第19566号 家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン水和剤、第21519号 家庭園芸用オ尔特ラン水和剤、第21819号 家庭園芸用GFオ尔特ラン水和剤)

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数		
なす	アブラムシ類、アザミウマ類	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内		
	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	1000倍						
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキシンウバ	1000～1500倍	収穫14日前まで					
	アオムシ、コカガ、アブラムシ類	1000～2000倍						
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1000～1500倍	収穫14日前まで					
	アオムシ、コカガ、アブラムシ類	1000～2000倍						
レタス	ヨトウムシ	1000～1500倍	収穫14日前まで					
ブロッコリー	オオタバコガ	1000倍						
だいこん	ヨトウムシ、カブラハバチ ダレコシクイムシ	1500倍	収穫14日前まで				2回以内	2回以内 (は種前及びは種時の処理は合計1回以内)
	アオムシ、コカガ、アブラムシ類	1500～2000倍						
はつかだいこん	ヨトウムシ、カブラハバチ ダレコシクイムシ	1500倍	収穫14日前まで	2回以内	2回以内 (は種前の処理は1回以内)			
	アオムシ、コカガ、アブラムシ類	1500～2000倍						
ばれいしょ	ヨトウムシ テントウムシダマシ幼虫	1000倍	収穫7日前まで	4回以内	5回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内)			
	アブラムシ類、シヤガバネガ	1000～1500倍						
トマト	アブラムシ類	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内			
	マメハモグリバエ	1000倍						
ミニトマト	アブラムシ類	1500倍	収穫14日前まで	1回	2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)			
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	1回			
とうもろこし	アブラムシ類							
ぶどう	チャノキアザミウマ フタテヒメヨコバイ	1500～2000倍	収穫30日前まで	2回以内	2回以内			
	ハマキムシ類*	1500倍						
かき	カキクダアザミウマ チャノキアザミウマ カキノハムシガ	1000～1500倍	収穫45日前まで	3回以内	3回以内			
	カキノヒメヨコバイ							
かんきつ	コカクモノハマキ、シヤクトリムシ類 ヤノハハチアザミウマ第1世代 ツノロウムシ、ルビローウムシ ミカンキアザミウマ ネギアザミウマ ゴボウノミドリヒメヨコバイ	1000倍	収穫30日前まで	3回以内	3回以内			
	アブラムシ類、ケシキスイ類 コアハナムグリ、アザミウマ類	1000～1500倍						
	ミカンゲコソジラミ	1500～2000倍						

*: 但し、登録番号21519号 家庭園芸用オ尔特ラン水和剤には「ぶどう」の適用病害虫「ハマキムシ類」の登録はありません。

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数		
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキシンウバ	1000～1500 倍	100～300 mL/m ²	収穫 30 日 前まで	1 回	散布	2 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内)		
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1000～2000 倍					1 回		
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1500 倍			3 回以内		3 回以内	3 回以内	
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1500～2000 倍						3 回以内	
レタス	ヨトウムシ オオタバコガ	1000～1500 倍						2 回以内	3 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ	1000 倍			1000 倍		1 回	1 回	
	アブラムシ類、ジャガイモガ	1000～1500 倍						2 回以内	2 回以内
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000 倍			200～700 mL/m ²		収穫開始 7 日前まで	1 回	1 回
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類						収穫 7 日 前まで	2 回以内	2 回以内
ぶどう	チャノキロアサミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～2000 倍			200～700 mL/m ²		収穫 60 日 前まで	1 回	1 回
	ハマキムシ類*	1500 倍	2 回以内	2 回以内					
かき	カキクダアサミウマ チャノキロアサミウマ カキノハタムシガ	1500 倍		収穫 45 日 前まで	2 回以内	2 回以内			

*：但し、登録番号 21519 号家庭園芸用マルチ水和剤には「ぶどう」の適用病害虫「ハマキムシ類」の登録はありません。

3) アセフェート粒剤

(第 13177 号 ホクコーオ尔特ラン粒剤、第 19993 号 オ尔特ラン粒剤)

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コガ ^テ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時及び 収穫 21 日前まで	3 回以内	定植時植穴散布 及び生育期葉面 散布	3 回以内
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期	1 回	散布	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時及び 収穫前日まで	3 回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	2 回以内 (定植時の 処理は 1 回 以内、定植 後は 1 回以 内)
ミニトマト			定植時	1 回	定植時作条散布 又は植穴散布	
きゅうり なす			アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ	2g/株	定植時及び 収穫前日まで	
ピーマン	アブラムシ類					
はくさい	アオムシ、コガ ^テ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時及び 収穫 21 日前まで	3 回以内	植穴散布及び 生育期株元散布	3 回以内
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (2g/株)	定植時及び収穫 14 日前まで		株元散布	
だいこん	アオムシ、コガ ^テ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1 回	は種前 作条散布	2 回以内 (は種前及 びは種時の 処理は合計 1 回以内)
はつかだいこん						2 回以内 (は種前の 処理は 1 回 以内)
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 14 日前まで	1 回	株元散布	1 回
ばれいしょ		3～6kg/10a (1～2g/株)	植付時			作条散布

[変更後]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	アオムシ、コガ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)	
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期		散布		
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時		1回	作条散布 又は植穴処理	1回
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ						
ピーマン	アブラムシ類	2g/株				株元散布	
はくさい	アオムシ、コガ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)				植穴処理	
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (2g/株)				株元散布	
だいこん	アオムシ、コガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前			作条散布	
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 21 日 前まで			株元散布	
ばれいしょ		3～6kg/10a (1～2g/株)	植付時			作条散布	

4) アセフェート粒剤 (家庭園芸用)

(第 19568 号 家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン粒剤、第 21520 号 家庭園芸用オ尔特ラン粒剤、第 21789 号 家庭園芸用 G F オ尔特ラン粒剤)

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コガネヨトウムシ アブラムシ類	3~6g/m ² (1株当り1~2g)	定植時及び収穫21日前までの生育期	3回以内	定植時植穴散布及び生育期葉面散布	3回以内
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期	1回	散布	
はくさい	アオムシ、コガネヨトウムシ アブラムシ類	3~6g/m ² (1株当り1~2g)	定植時及び収穫21日前までの生育期	3回以内	植穴散布及び生育期株元散布	3回以内
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ		定植時及び収穫前日までの生育期		定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布	
ミニトマト			定植時	1回	定植時植溝又は植穴散布	2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)
きゅうり なす	アブラムシ類 アサギマダラ類 オンシツコナジラミ	1株当り2g	定植時及び収穫前日までの生育期	3回以内	定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布	3回以内
ピーマン	アブラムシ類					
ブロッコリー	ヨトウムシ	6g/m ² (1株当り2g)	定植時及び収穫14日前までの生育期	1回	株元散布	2回以内 (は種前及びは種時の処理は合計1回以内)
だいこん	アオムシ、コガネアブラムシ類	3~4g/m ²	は種前		は種前植溝散布	
はつかだいこん						2回以内 (は種前の処理は1回以内)
かぶ		4g/m ²	収穫14日前まで	1回	株元散布	1回
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6g/m ² (1株当り1~2g)	植付時**		植溝散布	5回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内)

** : 但し、登録番号 21789 号 家庭園芸用 G F オ尔特ラン粒剤の「ばれいしょ」の使用時期は「植付前」です。

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コガネヨトウムシ アブラムシ類	3～6g/m ² (1株当たり1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期		散布	
はくさい	アオムシ、コガネヨトウムシ アブラムシ類	3～6g/m ² (1株当たり1～2g)	定植時		植穴処理	1回
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ				植溝散布又は植穴処理	
きゅうり なす	アブラムシ類 アサミヤカ類 オンシツコナジラミ				株元散布	
ピーマン	アブラムシ類	1株当たり2g			植溝散布	
ブロッコリー	ヨトウムシ	6g/m ² (1株当たり2g)			株元散布	
だいこん	アオムシ、コガネアブラムシ類	3～4g/m ²			は種前	
かぶ	アブラムシ類	4g/m ²	収穫21日前まで		株元散布	
ばれいしょ		3～6g/m ² (1株当たり1～2g)	植付時		植溝散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)

5) アセフェート・クロチアニジン粒剤 (第 21733 号 オルトラン DX 粒剤)

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
トマト	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	3回以内	4回以内 (育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)
なす		2g/株					
きゅうり	コナジラミ類						

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
トマト	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	1回	4回以内 (育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)
なす		2g/株					
きゅうり	コナジラミ類						

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成26年11月17日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20939号	ジェイエース粒剤	アセフェート粒剤	全国農業協同組合連合会
第21904号	スミフェート粒剤	アセフェート粒剤	住友化学株式会社
第20967号	ジェイエース水溶剤	アセフェート水溶剤	全国農業協同組合連合会
第21903号	スミフェート水溶剤	アセフェート水溶剤	住友化学株式会社

■変更内容及び変更理由

1) アセフェート粒剤（第20939号 ジェイエース粒剤、第21904号 スミフェート粒剤）

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ① 作物名「キャベツ」の「適用病害虫名」、「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「ハイマダラノメイガ」を削除し、「定植時及び生育期 但し、収穫21日前まで」から「定植時」に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期葉面散布」から「植穴処理」に、及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ② 作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫21日前まで」から「定植時」に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期株元散布」から「植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ③ 作物名「ブロッコリー」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫14日前まで」から「定植時」に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期株元散布」から「株元散布」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ④ 作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前作条散布」から「作条散布」に、及び「2回以内（は種前及びは種時の処理は合計1回以内）」から「1回」に変更する。
- ⑤ 作物名「かぶ」の「使用時期」及び「使用方法」をそれぞれ「収穫14日前まで」から「収穫21日前まで」に、及び「生育期葉面散布」から「株元散布」に変更する。
- ⑥ 作物名「なばな」の「使用方法」を「定植時土壌混和处理」から「土壌混和处理」に変更する。
- ⑦ 作物名「きゅうり、トマト、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫前日まで」から「定植時」に、「3回以内」から「1回」に、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散

布」から「作条散布又は植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。

- ⑧ 作物名「ミニトマト」を削除する。
- ⑨ 作物名「みずな」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時作条散布後土壌混和」から「作条散布後土壌混和」に、及び「2回以内（定植時は1回以内）」から「1回」に変更する。
- ⑩ 作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑪ 作物名「こまつな」の「使用方法」を「は種前作条散布後土壌混和」から「作条散布後土壌混和」に変更する。
- ⑫ 作物名「チンゲンサイ」の「使用方法」を「定植時作条散布後土壌混和」から「作条散布後土壌混和」に変更する。

2) アセフェート水溶剤

（第 20967 号 ジェイエース水溶剤、第 21903 号 スミフェート水溶剤）

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ① 作物名「かんきつ」を削除する。
- ② 作物名「かき」の「希釈倍数」を「1000～1500倍」から「1500倍」に変更する。
- ③ 作物名「ぶどう」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 30 日前まで」から「収穫 60 日前まで」に、「2回以内」から「1回」に、及び「2回以内」から「1回」に変更する。
- ④ 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「3回以内」から「1回」に、及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ⑤ 作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000～1500倍」から「1500倍」に、「収穫 14 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「3回以内」から「1回」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑥ 作物名「レタス」の「使用時期」を「収穫 14 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に変更する。
- ⑦ 作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑧ 作物名「だいこん」を削除する。
- ⑨ 作物名「かぶ」を削除する。
- ⑩ 作物名「チンゲンサイ」の「希釈倍数」を「1000倍」から「1500倍」に変更する。
- ⑪ 作物名「みずな」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000倍」から「1500倍」に、「収穫 14 日前まで」から「収穫 21 日前まで」に、「2回以内」から「1回」及び「2回以内（定植時は1回以内）」から「1回」に変更する。
- ⑫ 作物名「トマト」、「ミニトマト」及び「なす」を削除する。
- ⑬ 作物名「オクラ」の「使用時期」を「収穫 3 日前まで」から「収穫開始 7 日前まで」に変更する。

る。

- ⑭ 作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」に、「4回以内」から「2回以内」に、及び「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑮ 作物名「茶」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「摘採30日前まで」から「摘採45日前まで」に、「2回以内」から「1回」に、及び「2回以内」から「1回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

1) アセフェート粒剤（第 20939 号 ジェイエース粒剤、第 21904 号 スミフェート粒剤）

[変更前]

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	アセフェートを 含む農薬の 総使用回数	
キャベツ	アオムシ コガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当り 1～2g)	定植時及び生育期 但し、 収穫 21 日前まで	3 回 以内	定植時植穴処理 及び 生育期葉面散布	3 回以内	
	ハイダラノメイガ		収穫 21 日前まで		生育期葉面散布		
はくさい	アオムシ コガ ヨトウムシ アブラムシ類		定植時及び生育期 但し、 収穫 21 日前まで				定植時植穴処理 及び 生育期株元散布
ブロッコリー	ヨトウムシ	6kg/10a (1株当り 2g)	定植時及び生育期 但し、 収穫 14 日前まで				
だいこん	アオムシ コガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1 回	は種前作条散布	2 回以内 (は種前及び は種時の 処理は 合計 1 回以内)	
かぶ		4kg/10a	収穫 14 日前まで			生育期葉面散布	
なばな	アブラムシ類	6kg/10a (1株当り 2g)	定植時		定植時土壌混和 処理	1 回	
きゅうり	オンシツコナジラミ アザミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当り 1～2g)	定植時及び生育期 但し、収穫前日まで	3 回 以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3 回以内	
トマト							
ミニトマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ			定植時	1 回	定植時作条散布 又は 植穴散布	2 回以内 (定植時の処理 は 1 回以内、 定植後は 1 回以内)
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類		定植時及び生育期 但し、収穫前日まで	3 回 以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3 回以内	
みずな		6kg/10a	定植時		定植時作条散布 後土壌混和	2回以内 (定植時は 1回以内)	
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時	1回	作条散布	5回以内 (植付時の処理 は1回以内、 植付後は 4回以内)	
こまつな			は種前			は種前作条 散布後土壌混和	1回
チンゲンサイ			定植時			定植時作条 散布後土壌混和	

[変更後]

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	アセフトを 含む農薬の 総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1株当たり 1~2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 1回以内)
はくさい						
ブロッコリー	ヨトウムシ	6kg/10a (1株当たり 2g)			株元散布	
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3~4kg/10a	は種前		作条散布	
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 21 日 前まで		株元散布	
なばな		6kg/10a (1株当たり 2g)			土壌混和处理	
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類 アザミウマ類	3~6kg/10a (1株当たり 1~2g)	定植時		作条散布 又は 植穴処理	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ					
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類					
みずな						
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6kg/10a	植付時	作条散布	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、 植付後は 2回以内)	
こまつな			は種前	作条散布後 土壌混和	1回	
チンゲンサイ			定植時			

2) アセフェート水溶剤

(第 20967 号 ジェイエース水溶剤、第 21903 号 スミフェート水溶剤)

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
かんきつ	ヤノネカラムシ ツノロウムシ ルビノロウムシ ミカンキイロアザミウマ アザミウマ類	1000 倍	200~700 L/10a	収穫 30 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
	コアオハナムケリ チャノキイロアザミウマ アブラムシ類 ケシキスイ類	1000~ 1500 倍					
	ミカントケコジラミ	1500 倍					
かき	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキノハナムシカ	1000~ 1500 倍	200~700 L/10a	収穫 45 日前 まで	2 回 以内		2 回以内
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500~ 2000 倍		収穫 30 日前 まで			
キャベツ	ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類 タナキシンウワバ	1000~ 1500 倍	100~300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内		3 回以内
	はくさい			ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類			
レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内		2 回以内 (は種前及び は種時の処理は 合計 1 回以内)
ブロッコリー	ヨトウムシ						
だいこん	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1500~ 2000 倍	100~300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	2 回以内 (は種前及び は種時の処理は 合計 1 回以内)	
	かぶ	アオムシ コナガ アブラムシ類					1500~ 2000 倍
チンゲンサイ	アブラムシ類	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	2 回以内 (定植時は 1 回以内)	
みずな				収穫 14 日前 まで	2 回 以内	2 回以内 (定植時は 1 回以内)	
トマト				1000~ 2000 倍	収穫前日 まで	3 回 以内	3 回以内
	ママホケリハエ オオタバコガ	1000 倍					

(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数		
ミニトマト	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	1回	散布	2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)		
	マメハモグサ、リハ、エ、オオタバコガ	1000倍							
なす	アブラムシ類	1000～2000倍		1000倍	収穫7日前まで		3回以内	3回以内	
	ミカンキイロアザミウマ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、アザミウマ類								
オクラ	アブラムシ類、フタテノミ、トリヒメヨコバイ				収穫3日前まで		1回		1回
ばれいしょ	ヨトウムシ、オオニシユウヤホシテントウ				収穫7日前まで		4回以内		5回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内)
	アブラムシ類	1000～2000倍							
		300倍	25L/10a						
茶	チャノキイロアザミウマ、チャノミ、トリヒメヨコバイ	1000～2000倍	200～400 L/10a	摘採30日前まで	2回以内	2回以内			
	チャノコカモンハマキ	1000～1500倍							

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数
かき	カキタ ^{アサミウマ} チャノキイ ^{アサミウマ} カキノハムシ ^ガ	1500倍	200～700 L/10a	収穫45日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
ぶどう	チャノキイ ^{アサミウマ} フタテンヒメヨコ ^{バイ}	1500～ 2000倍		収穫60日前 まで	1回		1回
キャベツ	ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ^ガ ヨトウムシ アブラムシ類 タナキ ^{ンウワバ}	1000～ 1500倍	100～300 L/10a	収穫30日前 まで			1回
はくさい	ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ^ガ ヨトウムシ アブラムシ類	1500倍			1回		
レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバ ^{コガ}	1000～ 1500倍 1000倍			3回 以内		3回以内
チンゲンサイ みずな	アブラムシ類	1500倍	100～300 L/10a	収穫21日前 まで	1回		1回
オクラ	アブラムシ類 フタテンミ ^{トリヒメヨコ} バイ	1000倍		収穫開始7日 前まで			
ばれいしょ	ヨトウムシ オオニシ ^{ユウヤホシテント} ウ		1000～ 2000倍 300倍	25L/10a	収穫30日前 まで	2回 以内	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後は 2回以内)
	アブラムシ類						
茶	チャノキイ ^{アサミウマ} チャノミ ^{トリヒメヨコ} バイ	1000～ 2000倍	200～400 L/10a	摘採45日前 まで	1回	1回	
	チャノコカクモンハマキ	1000～ 1500倍					

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成26年11月17日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20940号	「興農」ジェネレート粒剤	アセフェート粒剤	興農股份有限公司
第20968号	「興農」ジェネレート水溶剤	アセフェート水溶剤	興農股份有限公司

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

1) アセフェート粒剤（第20940号 「興農」ジェネレート粒剤）

- ① 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期（収穫21日前まで）」から「定植時に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期葉面散布」から「植穴処理」に、及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ② 作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫21日前まで」から「定植時に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期株元散布」から「植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ③ 作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前作条散布」から「作条散布」に、及び「2回以内（は種前及びは種時の処理は合計1回以内）」から「1回」に変更する。
- ④ 作物名「きゅうり、トマト、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期（収穫前日まで）」から「定植時に、「3回以内」から「1回」に、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑤ 作物名「ミニトマト」を削除する。
- ⑥ 作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。

2) アセフェート水溶剤 (第 20968 号 「興農」 ジェネレート水溶剤)

- ① 作物名「かんきつ」を削除する。
- ② 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「3 回以内」から「1 回」に、及び「3 回以内」から「2 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内)」に変更する。
- ③ 作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000~1500 倍」を「1500 倍」に、「収穫 14 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「3 回以内」から「1 回」に、及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ④ 作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑤ 作物名「だいこん」を削除する。
- ⑥ 作物名「トマト」、「ミニトマト」及び「なす」を削除する。
- ⑦ 作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「4 回以内」から「2 回以内」に、及び「5 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 4 回以内)」から「3 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)」に変更する。
- ⑧ 作物名「茶」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「摘採 30 日前まで」から「摘採 45 日前まで」に、「2 回以内」から「1 回」に、及び「2 回以内」から「1 回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1) アセフェート粒剤（第20940号 「興農」 ジェネレート粒剤）

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コカガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時及び生育期 (収穫21日前まで)	3回以内	定植時植穴処理 及び 生育期葉面散布	3回以内
はくさい	アオムシ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)			定植時植穴処理 及び 生育期株元散布	
だいこん	アオムシ コカガ アブラムシ類		3～4kg/10a	は種前	1回	は種前作条散布
きゅうり	オンシツコナジラミ アザミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時及び生育期 (収穫前日まで)	3回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3回以内
トマト	オンシツコナジラミ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)				
ミニトマト	オンシツコナジラミ	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	定植時作条散布 又は 植穴散布	2回以内 (定植時の処理 は1回以内、 定植後は 1回以内)
なす	アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)	定植時及び生育期 (収穫前日まで)	3回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3回以内
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時	1回	作条散布	5回以内 (植付時の処理 は1回以内、植付 後は4回以内)

[変更後]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 1回以内)
はくさい	アオムシ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)				
	コナガ ヨトウムシ					
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前		作条散布	
きゅうり	オンシツコナジラミ アサミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時		作条散布 又は 植穴処理	1回
トマト	オンシツコナジラミ	6kg/10a (1株当たり 2g)				
	アブラムシ類					
なす	アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)				
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時	作条散布	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後は 2回以内)	

2) アセフェート水溶剤 (第 20968 号 「興農」 ジェネレート水溶剤)

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	ヤノ初カラムシ ツノロウムシ ルビノロウムシ コアホナムグリ ミカンキイロアザミウマ	1000 倍	収穫 30 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
	チャノキイロアザミウマ アブラムシ類						
キャベツ	アオムシ コナガ	1000～1500 倍	収穫 7 日前 まで	2 回以内			2 回以内 (は種前及び は種時の処理は 合計 1 回以内)
はくさい							
だいこん	ヨトウムシ アブラムシ類	1500 倍	収穫 14 日前 まで				
ブロッコリー	ヨトウムシ	1000 倍		3 回以内			3 回以内
トマト	アブラムシ類	1000～2000 倍	収穫前日 まで	3 回以内			2 回以内 (定植時の処理 は 1 回以内、定 植後は 1 回以内)
	マメハモグリバエ	1000 倍					
ミニトマト	アブラムシ類	1000～2000 倍		1 回			
	マメハモグリバエ	1000 倍					
なす	アブラムシ類	1000～2000 倍	収穫 7 日前 まで	3 回以内			
	ミカンキイロアザミウマ ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000 倍					
	ばれいしょ	アブラムシ類 オオニジュウヤホシテントウ			4 回以内	5 回以内 (植付時の処理 は 1 回以内、植 付後は 4 回以内)	
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～2000 倍	摘採 30 日前 まで	2 回以内	2 回以内		
	チャノコカモンハマキ	1000～1500 倍					

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	アゼートを含 む農薬の 総使用回数
キャベツ	アムシ コガ ヨウムシ アブラムシ類	1000～ 1500 倍	100～300 L/10a	収穫 30 日前 まで	1 回	散布	2 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内、 定植後の散布は 1 回以内)
はくさい		1500 倍					1 回
ばれいしょ	アブラムシ類 オオシジユウホシテントウ	1000 倍	2 回 以内	3 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)			
茶	チャノキイロアサミマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノコクモンハマキ	1000～ 2000 倍 1000 ～ 1500 倍	200～400 L/10a	摘採 45 日前 まで	1 回		1 回

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は 1 日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年1月21日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23299号	オルフィンフロアブル	フルオピラム水和剤	バイエルクロップサイエンス(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「ぶどう」の使用時期を「収穫前日まで」から「収穫14日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルオピラムを含む農薬の総使用回数
ぶどう	灰色かび病	4000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルオピラムを含む農薬の総使用回数
ぶどう	灰色かび病	4000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内

【変更理由】

登録維持に必要な追加の資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年1月21日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23387号	オルフィンプラスフロアブル	テブコナゾール・フルオピラム水和剤	バイエルクロップサイエンス(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「ぶどう」の使用時期を「収穫前日まで」から「収穫14日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テブコナゾールを含む農薬の総使用回数	フルオピラムを含む農薬の総使用回数
ぶどう	灰色かび病	3000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テブコナゾールを含む農薬の総使用回数	フルオピラムを含む農薬の総使用回数
ぶどう	灰色かび病	3000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内

【変更理由】

登録維持に必要な追加の資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年1月21日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17743号	パダントレボン粒剤L	エトフェンプロックス・カルタップ粒剤	住友化学株式会社
第17744号	クミアイパダントレボン粒剤L	エトフェンプロックス・カルタップ粒剤	クミアイ化学工業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

作物名「稲（箱育苗）」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数	カルタップを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネノコイムシ	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当たり 50g	移植当日	3回以内	本剤の所定量を育苗箱の苗の上から均一に散布する。	3回以内	6回以内(種もみ浸漬は1回以内、床土への混和、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内)
	イネヌズメ	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当たり 50～70g					

[変更後]

(削除)

【変更理由】

登録内容の登録維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年1月21日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17687号	ラリー乳剤	ミクロブタニル乳剤	ダウ・ケミカル日本株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ） 】

作物名「芝（日本芝）」を削除する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ） 】

[変更前]

作物名	適用 病虫害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ミクロブタニルを含む 農薬の総使用回数
芝 (日本芝)	さび病	3000倍	0.2L/m ²	発病初期	5回以内	散布	5回以内

[変更後]

削除

【 変更理由 】

別途芝専用剤の登録を取得するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年1月21日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第16752号	トレボン水和剤	エトフェンプロックス水和剤	三井化学アグロ株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

作物名「稲」の使用法「育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り希釈液500mLを散布」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
稲	イネミズゾウムシ	100倍	移植前日～移植当日	3回以内	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り希釈液500mLを散布	3回以内

[変更後]

(削除)

【変更理由】

登録内容の登録維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年1月21日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第16759号	トレボン粒剤	エトフェンプロックス粒剤	三井化学アグロ株式会社
第16983号	日産トレボン粒剤	エトフェンプロックス粒剤	日産化学工業株式会社
第16984号	クミアイトレボン粒剤	エトフェンプロックス粒剤	クミアイ化学工業株式会社
第16985号	サンケイトレボン粒剤	エトフェンプロックス粒剤	サンケイ化学株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

作物名「稲（箱育苗）」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネズゾウムシ	育苗箱 (30×60×3 cm) 使用土壌約 5L) 1箱当り 70g	移植当日	3回以内	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	3回以内

[変更後]

(削除)

【変更理由】

登録内容の登録維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため。

平成26年12月25日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年2月4日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第4803号	住化ジメトエート乳剤	ジメトエート乳剤	住友化学（株）
第12406号	サンケイジメトエート乳剤	ジメトエート乳剤	琉球産経（株）
第14397号	ジメトエート粒剤	ジメトエート粒剤	住友化学（株）
第22733号	ホクサンジメトエート粒剤	ジメトエート粒剤	ホクサン（株）
第15450号	ベジホン乳剤	ジメトエート・フェンバレレート乳剤	住友化学（株）
第22630号	ホクサンベジホン乳剤	ジメトエート・フェンバレレート乳剤	ホクサン（株）

■変更内容及び変更理由

1) ジメトエート乳剤

（第4803号 住化ジメトエート乳剤、第12406号 サンケイジメトエート乳剤）

【変更内容（今回、使用制限となる変更部分のみ）】

- ・作物名「みかん」、「なつみかん」、「かんきつ（みかん、なつみかんを除く）」、「はくさい」、「トマト」、「ピーマン」、「かぼちゃ」、「しろうり」、「かぶ」、「にんじん」、「ねぎ」、「にら」、「たまねぎ」、「さやいんげん」、「さとうきび」※1及び「パイナップル」※1を削除する。

※1：サンケイジメトエート乳剤（第12406号）のみに適用有り。

2) ジメトエート粒剤

（第14397号 ジメトエート粒剤、第22733号 ホクサンジメトエート粒剤）

【変更内容（今回、使用制限となる変更部分のみ）】

- ・作物名「だいこん」、「なす」、「ねぎ」、「だいず」、「畑わさび」及び「わさび」を削除する。

3) ジメトエート・フェンバレレート乳剤

（第15450号 ベジホン乳剤、第22630号 ホクサンベジホン乳剤）

【変更内容（今回、使用制限となる変更部分のみ）】

- ・作物名「キャベツ」、「はくさい」及び「だいこん」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1) ジメトエート乳剤

（第4803号 住化ジメトエート乳剤、第12406号 サンケイジメトエート乳剤）

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメトエートを含む農薬の総使用回数
みかん	ヤノ初イガラムシ	800～1000倍	収穫30日前まで			
	ミカンハモクダリガ	800～1500倍				
	ミカンコナジラミ コナカイラムシ類	1000～1500倍				
	アブラムシ類 ハダニ類	1000～2000倍				
	カネタキ ゴマダラカミキリ成虫 ミカンハエ	1000倍				
なつみかん	ヤノ初イガラムシ	800～1000倍	収穫90日前まで	2回以内		2回以内
	ミカンハモクダリガ	800～1500倍				
	ミカンコナジラミ コナカイラムシ類	1000～1500倍				
	アブラムシ類 ハダニ類	1000～2000倍				
	カネタキ ゴマダラカミキリ成虫 ミカンハエ	1000倍				
かんきつ (みかん、 なつみかん を除く)	ミカンハモクダリガ ミカンコナジラミ コナカイラムシ類	1000～1500倍			散布	
	アブラムシ類 ハダニ類	1000～2000倍				
	カネタキ ゴマダラカミキリ成虫 ヤノ初イガラムシ ミカンハエ	1000倍				
はくさい	アブラムシ類	2000倍	収穫14日前まで	3回以内		3回以内
トマト	ハダニ類 アブラムシ類	1000～2000倍	収穫前日まで	2回以内		2回以内
ピーマン かぼちゃ しろうり			収穫7日前まで			
かぶ			収穫14日前まで	3回以内		3回以内
にんじん	収穫7日前まで					
ねぎ	収穫30日前まで					
にら	2000倍	収穫14日前まで				
たまねぎ	1000～2000倍	1000～2000倍	収穫7日前まで	4回以内		4回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメトエトを含む農薬の総使用回数
さやいんげん	インゲンモグリハエ	1000倍	発芽後～ 本葉2～3葉期	3回以内	散布	3回以内
さとうきび※1	タカラマルカイガラムシ カンシヤワタアブラムシ		収穫21日前まで	4回以内		4回以内
パイナップル※1	パイナップルコナカイガラムシ					

※1：サンケイジメトエート乳剤（第12406号）のみに適用有り。

[変更後]

（削除）

2) ジメトエート粒剤

（第14397号 ジメトエート粒剤、第22733号 ホクサンジメトエート粒剤）

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメトエトを含む農薬の総使用回数
だいこん	アブラムシ類	3～6kg/10a	は種前～ 収穫42日前 まで	3回以内	株元施用 又は 作条施用	3回以内
なす	ハダニ類 モモアカアブラムシ テントウムシダマシ アザミウマ類		定植後 収穫14日前 まで		株元施用	
ねぎ	アザミウマ類 ネダニ ネギハモグリハエ		6kg/10a		移植前～ 収穫30日前 まで	
だいず	アブラムシ類	3～6kg/10a	は種時	1回		1回
畑わさび	ワサビクダアザミウマ ミドリサリゾウムシ	6kg/10a	収穫28日前 まで	2回以内	散布	2回以内
わさび			畑育苗期			

[変更後]

（削除）

3) ジメトエート・フェンバレート乳剤

(第 15450 号 ヘキシホン乳剤、第 22630 号 ホクサンヘキシホン乳剤)

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメトエートを含む農薬の総使用回数	フェンバレートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コカガ アブラムシ類 ヨトウムシ タナギンウハバ	1000～2000倍	100～300 L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	3回以内	5回以内
はくさい	アオムシ コカガ			収穫14日 前まで				
だいこん	アブラムシ類 ヨトウムシ			収穫35日 前まで				3回以内

[変更後]

(削除)

【変更理由】

- ① みかん、なつみかん、かんきつ（みかん、なつみかんを除く）、はくさい、トマト、ピーマン、かぼちゃ、しろうり、かぶ、にんじん、ねぎ、にら、たまねぎ、さやいんげん、パイナップル、だいこん、なす、だいず、キャベツ

(変更理由) ジメトエートを有効成分とする農薬は、これまで有効成分ジメトエートのみの評価に基づき農薬登録が行われていたが、今後、改めて評価される場合は、ジメトエートの代謝物であるオメトエートが評価の対象になると想定され、農薬製造者がこのことを考慮して自ら短期暴露評価を実施した結果、現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要することから、使用制限となる登録変更が必要であると考えられたため。

- ② さとうきび、畑わさび、わさび

(変更理由) 短期暴露評価の対象となる食品ではないが、現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。

平成27年1月16日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年2月18日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第13038号	日産エスレル10	エテホン液剤	日産化学工業(株)
第13039号	石原エスレル10	エテホン液剤	石原産業(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「きんかん」の使用時期「着色始期」を「着色始期 ただし、収穫14日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エテホンを含む農薬の総使用回数
きんかん	着色促進	500～800倍	200～300 ℓ/10a	着色始期	1回	立木 全面散布	1回

[変更後]

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エテホンを含む農薬の総使用回数
きんかん	着色促進	500～800倍	200～300 ℓ/10a	着色始期 ただし、 収穫14日前まで	1回	立木 全面散布	1回

【変更理由】

登録維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年2月18日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21220号	クロピクフロー	クロルピクリンくん蒸剤	日本化薬(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「メロン」を削除する。
- ・作物名「うり類(漬物用)」を「うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	本剤の使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む農薬の総使用回数
メロン	黒点根腐病 つる割病 ネコブセンチュウ	20～30 ℓ /10a	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
うり類 (漬物用)	つる割病 ネコブセンチュウ	30 ℓ /10a			

[変更後]

作物名	適用病害虫名	使用量	本剤の使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む農薬の総使用回数
うり類 (漬物用、 ただし、漬物用 メロンを除く)	つる割病	20～30 ℓ /10a	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
	ネコブセンチュウ	30 ℓ /10a			

【変更理由】

クロピクフローを使用した圃場において、生育障害の発生事例があったため。

平成27年1月16日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年2月18日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17943号	マブリックEW	フルバリネート乳剤	日本農薬㈱
第17944号	クミアイマブリックEW	フルバリネート乳剤	クミアイ化学工業㈱

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「大粒種ぶどう」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フルバリネート を含む農薬の 総使用回数
大粒種ぶどう	チャノキロアサミマ フタテンヒメコバエ	8000倍	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内

【変更後】

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年2月18日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第16714号	マブリック水和剤20	フルバリネット水和剤	日本農薬(株)
第16715号	クミアイマブリック水和剤20	フルバリネット水和剤	クミアイ化学工業(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「大粒種ぶどう」及び作物名「トマト」を削除する。
- ・作物名「レタス」の使用時期を「収穫前日まで」から「収穫7日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルバリネットを含む農薬の総使用回数
大粒種ぶどう	チャノイアサミマ	4000～8000倍	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内
	フタテヒメヨコバイ ツマグロオオスカメ	8000倍				
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	4000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
レタス	アブラムシ類	4000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルバリネットを含む農薬の総使用回数
レタス	アブラムシ類	4000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成27年1月16日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年2月18日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第16720号	日曹マブリックジェット	フルバリネットくん煙剤	日本曹達㈱
第16721号	マブリックジェット	フルバリネットくん煙剤	日本農薬㈱
第16722号	新富士マブリックジェット	フルバリネットくん煙剤	新富士化成薬㈱

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

作物名「トマト」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルバリネットを含む農薬の総使用回数
トマト	温室、ビニールハウス等の密閉できる場所	アブラムシ類	くん煙室容積400m ³ （高さ2m、床面積200m ² ）当り50g	収穫前日まで	2回以内	くん煙	2回以内

【変更後】

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成27年1月16日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年2月18日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18191号	ローヌ・プーランデナポン水和剤50	NAC水和剤	TKI JAPAN(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

作物名「ぶどう」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	NACを含む農薬の総使用回数
ぶどう	フタセンヒメヨコバイ ブドウウラカミキリ	800倍	収穫60日前まで	1回	散布	1回

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成27年1月16日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年2月18日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第5129号	日産マイクロデナポン水和剤85	NAC水和剤	日産化学工業(株)
第5131号	日農マイクロデナポン水和剤85	NAC水和剤	日本農薬(株)
第5133号	ホクコーマイクロデナポン水和剤85	NAC水和剤	北興化学工業(株)
第11013号	三明マイクロデナポン水和剤85	NAC水和剤	三明ケミカル(株)
第18186号	ローヌ・プーランマイクロデナポン水和剤85	NAC水和剤	TKI JAPAN(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「ぶどう」、「はくさい」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	NACを含む農薬の総使用回数
ぶどう	クロヒメジウム コガネシジミ類 ブドウウスカシバ	1000倍	収穫60日前まで	1回	散布	1回
はくさい	アオムシ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	800~1000倍	収穫21日前まで	3回以内		3回以内

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成27年1月16日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年2月18日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第16866号	日産ルビゲン水和剤	フェナリモル水和剤	日産化学工業(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「トマト」、「もも」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェナリモルを含む農薬の総使用回数
トマト	葉かび病	6000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
もも	灰星病	3000倍				

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成27年1月16日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年2月18日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17606号	日産スペックス水和剤	ジラム・チウラム・フェナリモル水和剤	日産化学工業(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「もも」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジラムを含む農薬の総使用回数	チウラムを含む農薬の総使用回数	フェナリモルを含む農薬の総使用回数
もも	黒星病 灰星病 せん孔細菌病	500倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	5回以内	5回以内	3回以内

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。